神流小学校　校内研修通信

深化の過程

2021.04.30
No.1

皆さま、校内研修では大変お世話になっております。
今年度も研修を進めるにあたり、研修の振り返り（含：私の反省。。。）や思いついたことを時々書いていこうと考えています。タイトルもそのままで、代わり映えしませんが…。よろしくお願いします。

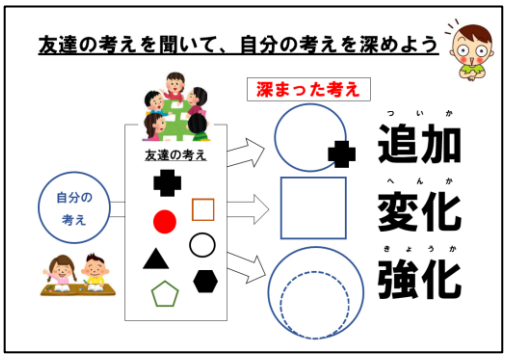
まずは…

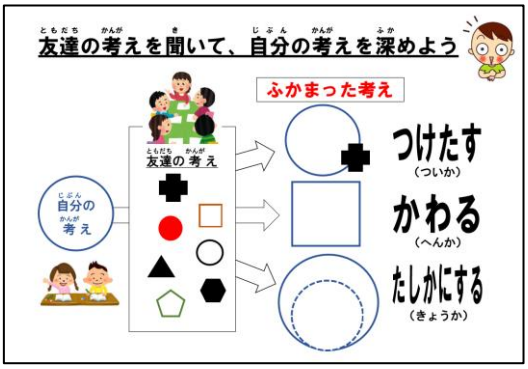
第１回校内研修全体会、お世話になりました。

昨年度からの継続の研修ではありますが、あらためて今年度のメンバーで確認、という意味で、話をさせていただきました。（慌ただしい説明になってしまってすみませんでした…。特に今年度いらっしゃった先生方には分かりづらく…早くも反省です。。。）
今年度も研修のポイントは、**「主体的で深い学びにつなぐ」**と、**「思いを表現させる」**です。そのための手立てとして、**①単元構想の工夫、②「つなぎ教材」の活用、③生徒指導の３機能を生かした指導の継続**に加えて**④授業スタンダードに基づいた１単位授業の充実**を図っていく、ということです。今年度は特に④の効果的な方法について、研修を通していろいろ探っていきましょう！

西村先生、ありがとうございました。

「ふりかえり」の時間を十分に確保して、子どもに自分の学びを見つめ直す機会を与えることで、子ども自身が自らの考えの変化に気付き、学びもさらに深まる、ということなのですね。**「追加」「変化」「強化」の視点を示す**ことは、振り返りを整理する際の手助けになるのだと思います。ぜひ、普段の授業から意識していきましょう。





「振り返りが大切」とは分かっていても、授業の最後にその時間を作るのはなかなか難しいところかと思います。が、今年度はちょっと頑張って、まずは**「ふりかえり」の確保**から始めていきましょう！

今後も研修を通して、子どもたちの学びの「深化」を図っていければと考えています。
よろしくお願いします。　（文責：山崎）